

当社最大の屋外スペースを導入！屋内外の親子のあそび場が、大阪城公園に登場 「ボーネルンド プレイヴィル 大阪城公園」5月31日(木)オープン 多種多様なあそびを通して、健やかな体と、意欲的な心、自ら考える力を育む

子どもの健やかな成長に「あそび」を通して貢献することを目指し、教育玩具・遊具の輸入・開発・販売とあそび場づくりを行う株式会社ボーネルンド(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:中西弘子)は、0才から小学生の子どもと保護者を対象とした「ボーネルンド プレイヴィル 大阪城公園」を、2018年5月31日(木)にオープンします。当施設は、「屋外あそび場」と、「室内あそび場」、「表現遊びエリア」が一体となっており、この業態は「ボーネルンド プレイヴィル 天王寺公園」に続き、全国で2店舗目となります。

「ボーネルンド プレイヴィル 大阪城公園」について

「ボーネルンド プレイヴィル 大阪城公園」は、大阪府大阪市中央区の大阪城公園にオープンする、親子で屋内外のあそびが楽しめる施設です。

当社施設で最大となる屋外スペースには、走る・登る・跳ぶといった多様でダイナミックな動きを引き出す仕掛けや世界の遊具をそろえ、子どもたちは遊びながら体を動かすことの楽しさを実感できます。水遊びや生物と触れ合える“小川”をつくり、都心にいながら自然に親しみ、科学的な好奇心を育むきっかけを提供します。

屋内には、天候に左右されず、発達や興味に合わせたあそびがそろった「室内あそび場」と、組み立て遊びやダイナミックなお絵描きができる「表現遊びエリア」を設けました。「室内あそび場」では、屋外とは異なり、体を細やかに器用にコントロールすることが求められる体遊びをそろえました。「表現遊びエリア」では、多彩なブロック、絵の具などの画材、ネンド、ままごと遊びの道具、大量の図鑑や絵本などを用意。自由な表現遊びを通じて、思いや考えを自分なりの方法で表現する力や創造力、論理的に考える力を育みます。



屋外あそび場イメージ



屋内あそび場イメージ



表現遊びエリアイメージ

「ボーネルンド プレイヴィル 大阪城公園」3つのポイント

1. 子育てに欠かせない拠点となる、未来の公園のあり方を提案

かつての公園は、異年齢の子どもや大人が集いつながることができるコミュニティでしたが、近年は遊具の撤去やあそびの制限が増えたことで、その機能が失われつつあります。

当社は、思う存分 体を動かして自由に遊べる環境は子どもの成長に必要不可欠と考え、子どもがあそびを通して成長でき、親同士が交流できる場＝子育てコミュニティとしての公園の機能を取り戻す試みを進めてきました。

今回、「ボーネルンド プレイヴィル 大阪城公園」の開発においても、子どもの成長・発達とあそび環境づくりについて40年間蓄積してきたノウハウを結集し、子育てのインフラとして機能する、これからの公園のあり方を提案します。



2. 地域が抱える、子どもの運動能力や運動設備・あそび場不足の課題を解決

大阪府大阪市中央区は、急激な人口流入による児童の急増と、それに伴う宅地開発が続いており、十分に体を動かせる学校設備やあそび場が大幅に不足しています。また、大阪府全体でも子どもの運動能力の低下が問題となり、スポーツ庁の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査※」では、総合成績が全国平均を大きく下回る状況が続いています。

※出典：スポーツ庁「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

http://www.mext.go.jp/sports/b_menu/toukei/kodomo/zencyo/1368222.htm

当施設は、0歳から12歳までの子どもが遊びながら自然に、走る、跳ぶ、のぼる、ぶら下がる、バランスをとるなどの多様な動きを体験できます。これにより市が抱える課題である、子どもの育ちの場の創出と運動能力の向上に寄与します。



3. ボーネルンド最大級の屋内外のあそび場で、生きる力につながる多種多様なあそびが体験できる

自然と触れ合いながら遊べる「屋外あそび場」と、雨の日でも体を思い切り動かして遊べる「室内あそび場」、自分の思いや考えを様々な形で表現できる屋内の「表現遊びエリア」の3つのエリアを用意。乳幼児から小学生までの幅広い年齢の子どもが、年齢や発達、興味によって、多種多様なあそびに没頭できる環境を実現します。また、乳幼児と小学生が同じ場で遊びながらも、それぞれが安全に、思う存分遊べるようにゾーニングを工夫しています。



表現遊びエリアにはブックスペースを設け、あそびの中で感じた疑問をすぐに図鑑で調べることができます。また、既存の施設で大人気の組み立て遊び、お絵描き遊びに加え、光を投影する色彩遊びができる遊具を取り入れました。こうした環境でのあそびを通して、これからの時代に求められる、課題を自ら設定する力、問題意識を持って取り組む主体的に学ぶ姿勢や、思考力、表現力を育みます。

■ 屋外あそび場の特徴

717 m²の広々とした緑豊かな空間の中で存分に、体遊びや感覚遊び、表現遊びが楽しめるあそび場です。乳幼児専用ゾーンも設けています。



○小学生も思い切り体を動かして遊べる

木登りのようなチャレンジができる木製遊具のほか、広さを活かして高さ約 1.3m の丘を設けています。これにより小学生が走る、のぼる、転がる、跳ぶといったダイナミックな全身運動ができます。また、イベントスペースも設けて異年齢の子ども同士があそびを通して交流できるようにし、コミュニケーション力や他者を思いやる心を育みます。



○都会の中でも、自然に触れ合うあそびが体験できる

砂遊びや水遊びなどの、五感や科学的な好奇心を刺激する感覚遊びができます。砂や土と水を使ってどろんこ遊びをしたり、夏には小川に入って水遊びも楽しめます。また、小川があることで水辺に生息する昆虫や植物などの自然に触れることができ、あそびを通して興味関心を持ち主体的に学ぶ姿勢を育みます。



○乳幼児も安心！親子が憩える空間

小学生が活発に動き回れるエリアとは別に、乳幼児が安心して遊べるエリアを設けます。色彩豊かな幼児向け遊具のすぐ隣にはベンチがあり、保護者が近くで見守りながら安心して遊ばせることができます。また、デッキスペースでは、お弁当の持ち込みが可能で、親同士の交流も促進します。



■ 室内あそび場の特徴

天候に左右されず、年齢や発達、興味に合わせて体験できるあそびが充実した室内のあそび場です。



○天候に左右されず、親子で世界のあそびが体験できる

雨の日でも思い切り体を使って遊ぶことができます。乳幼児から小学生までの幅広い年齢の子どもと一緒に遊びながらも、難易度によって自然とあそびが分かれ、活発に体を動かしたい子どもも、自分のペースで遊びたい子どもも満足できるよう工夫を施しています。また、繰り返し訪れても楽しめるよう、遊具の入れ替えも随時行います。屋外のダイナミックな動きとは異なる、体や指先を器用にコントロールすることが求められるあそびをそろえました。



○赤ちゃんも親も安心して遊べる専用エリア

6 か月～18 か月の赤ちゃんの見る・聞く・触るなどの五感を刺激するあそびが充実しています。興味を引き出す楽しいしかけによってハイハイやつかまり立ちなどの発達も促します。保護者にとっては子どもの成長の発見の場や、親同士の交流の場となります。離乳食を食べさせられる軽食スペースや授乳室、おむつ交換台も完備しています。



■ 表現遊びエリアの特徴

○屋外で感じたことを調べたり、多彩な素材を使って、自分の好きな方法で表現遊びが楽しめる

屋外でつけた木の実や葉っぱを使って、工作やごっこ遊びをしたり、絵の具でガラスの窓にお絵かきをしたりと、自分の気持ちや感じたことを、多様な素材を使って自由に表現するあそびが楽しめます。

ブックスペースもあり、屋外で見つけた昆虫や植物を図鑑で調べることができたり、広いベンチに腰掛けて絵本を楽しむこともできます。遊びながらインプットしたことを、様々な方法でアウトプット(表現)することができ、創造性やコミュニケーション力の基礎を育みます。



「ボーネルンド プレイヴィル 大阪城公園」概要

- 店舗名 ボーネルンド プレイヴィル 大阪城公園
- 所在地 大阪府大阪市中心区大阪城 3 番 9 号
- 面積 【屋外あそび場】717 m²(216 坪)
 【屋内あそび場】530 m²(160 坪)
- 営業時間 9:00～19:00(受付 18:30 まで)
 ※冬季期間(11 月～2 月)は 9:00～18:00(受付 17:30 まで)
- 対象年齢 6 か月～12 歳(大人も子どもと一緒に楽しめます)
- 利用料金 未定
- 営業開始日 2018 年 5 月 31 日(木)
- 電話番号 未定
 ※お客様の事前お問い合わせ先:ボーネルンド 0120-358-518(月～金 10:00～17:00)

【ボーネルンドについて】

ボーネルンドは、あそびを通して子どもの健やかな成長に寄与するため 1981 年に設立し、一貫して“あそびの道具と環境”を提供する事業を展開。一般家庭へ向け、子どもの成長に必要な生活道具としての“あそび道具”を提案、全国 83 ヶ所で店舗を展開しています。同時に幼稚園や保育園、公園などに高品質な大型遊具や教育道具の提供を含めたあそび環境の開発を行っており、現在までに手掛けた実績は国内約 3 万 5 千ヶ所まで拡大しています。また、2004 年からは、子どもが遊ぶ機会を増やすために、親子一緒に様々なあそびを体験できる室内あそび場「キドキド」事業をスタート。全国 21 ヶ所、年間 277 万人以上、「キドキド」のノウハウを取り入れた地方行政の室内あそび場を含めると全国約 30 ヶ所、年間 350 万人以上の親子が訪れています。

【報道関係の方のお問い合わせ先】

株式会社ボーネルンド 広報室
担当: 金山、村上
TEL: 03-5785-0860
e-mail public-relations@bornelund.co.jp

【一般の方のお問い合わせ先(ご掲載用)】

株式会社ボーネルンド
TEL: 0120-358-518(月～金 10:00～17:00)